

しじゅうから

福島市小鳥の森通信2019年3月号 No.398



小鳥の森で観察してみよう 87

イスカ

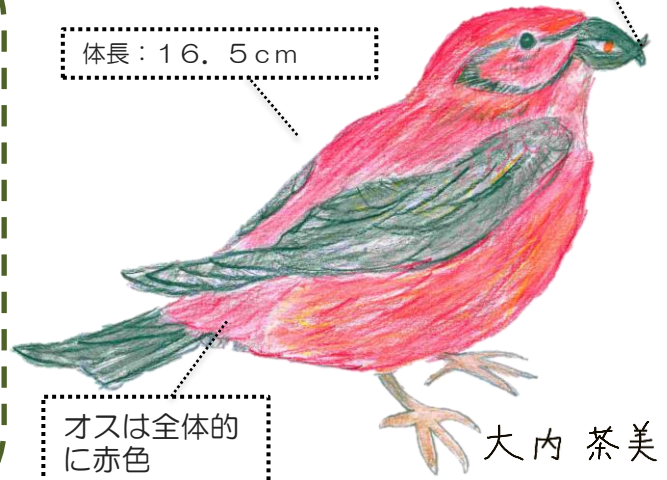
分類：スズメ目アトリ科

生態

- ・冬鳥（3～5月）
- ・アカマツなどの針葉樹、ハンノキ類の種を食べる
- ・群れで生活している

小鳥の森での観察

- ・ホオジロの小径 アカマツ林



大内 茶美

今回の絵は、大内 茶美 さん（8さい）が描いてくれました。

3月の自然予報

3月下旬になると、まだ他の草花が眠っている中、薄むらさき色の花を咲かせるカタクリが林床を彩るようになります。

今冬は小鳥の森では雪が少なく、例年よりも暖かったため、いつ頃の開花になるのか気になります。暖かい日には、春を感じながら、スプリング・エフェメラル（春のはかない命）を探しに森の中へ足を運んでみてはいかがでしょうか。



カタクリの花

過去のカタクリ開花日

2018/3/23
2017/3/24
2016/3/17
2015/3/21
2014/3/28

鳥の中でも一番に春を告げるシジュウカラやヤマガラ「ツツピー、ツツピー・・・」というさえずりがよく聞こえるようになります。また、エナガがクモの巣の糸やコケ、羽毛などの巣材運びをする姿も見られるかもしれません。

冬鳥は北へもどりはじめる時期になるため、さびしさを感じるようになりますが、かわりに子育ての準備をする小鳥の声で森の中がにぎやかになってきます（子育ての準備の邪魔にならないよう、巣材を運んでいたりする姿を見かけたらその場をそっと離れましょう）。



エナガ

2月の自然

ネイチャーセンターの近くでオオカマキリの卵しょうを見つけました。“卵しょう”とは、卵をおおっているスポンジ状のもののことを言い、卵を寒さや乾燥などから守っています。また、この卵しょうの中には、300~400個もの卵がはいっているのです。枯れた草や木の枝の目立った場所に産むので、気にして見るとよく目につきます。春の気配を感じつつ、冬越し中の生き物の様子を観察できた2月でした。



ネイチャーセンター周辺ではムラサキシキブの実を食べるベニマシコ、光を浴びてりり色に輝くルリビタキ、水辺で水を飲む黄色の羽があざやかなマヒワなど

赤・青・黄色の冬の小鳥の姿を見ることができました。これからの渡りにそなえて、必死にエサ探しをしている冬鳥たちを観察することができました。



マヒワ



ルリビタキ

小鳥の森スタッフだより

あなたも新発見者？！

ある朝、小鳥の森のレンジャーが園内を歩いていると、ウソという野鳥がしきりに赤い実を食べている姿を見つけました。しかし、何の木かわからず、実や枝の形、幹の模様などを写真に撮って、図鑑で調べると、バラの仲間の「アズキナシ（小豆梨）」だとわかりました。小鳥の森で野鳥がこの実を食べているのは今まで見つけられていませんでした。森の大切な情報が一つ増えました。少し気にしながら歩くと、まだまだ新しい発見があるようです。みなさんも不思議に思うことがあったら、通り過ぎないで、調べてみて下さいね。新発見に出会えるかもしれませんよ。

(スタッフ くろさわ さちこ)

お山の大将あつまれ！活動報告

2月17日にお山の大将あつまれ！第9回を実施しました。今回は、野鳥のための給餌台、ムササビのための巣箱づくりを行いました。

2組に分かれ、それぞれノコギリを使って木を切ったり、釘をかなづちで打ったりと、普段やらない作業で苦戦しながらも、給餌台、巣箱を完成させました。

給餌台設置後、すぐに小鳥たちが集まり、子供たちも喜んでいました。

4月からは、新しいお山の大将あつまれ！のメンバーを募集します。興味のある方は気軽にお問合せ下さい。



お山の大将あつまれ！活動の様子

※福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。
詳しくはネイチャーセンターまでお気軽にお問い合わせ下さい。

*小鳥の森ホームページで小鳥の森スタッフが独自に測定した環境放射線量を公開しています。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel: 024-531-8411 fax: 024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2019年3月号No.398／企画・発行：福島市小鳥の森／日本野鳥の会ふくしま